

(株)スターランド 「スーパースター」導入店レポート

奥多摩温泉 もえぎの湯 [東京都奥多摩町]

キャッシュレス精算ニーズに応えるべく POSシステムを全面刷新、集客増図る



奥多摩総合開発㈱
奥多摩温泉 もえぎの湯
支配人 鈴木和希氏

約4か月間営業を休止してシステム刷新 同時にレストランなどをリニューアル

奥多摩湖や日原鍾乳洞といった観光スポットが点在する東京都奥多摩町で、1998年から営業を続けている温浴施設「奥多摩温泉 もえぎの湯」。源泉を100%使用した内風呂や露天風呂、足湯などが楽しめるほか、地元の食材を使ったレストランなどを完備する。JR奥多摩駅から徒歩10分の至近で、周辺の観光スポットからのアクセスもよいことから、大型連休などには来場者が受付に列をつくる人気施設だ。運営する奥多摩総合開発㈱は奥多摩町や地元金融機関が出資する第三セクターで、キャンプ場や宿泊施設、釣り堀、美術館なども運営している。

同施設では2023年11月から翌24年4月まで浴室を中心とした設備リニューアルを行なったのに続き、2024年11月25日から25年3月末までの約4か月間、営業を休止してシステムと設備両面でのリニューアル工事を実施した。

「若いお客さまを中心にキャッシュレス決済の利用が広がり、近年は外国人のお客さまも増えていることから、今回のリニューアルでは多彩な精算方法に対応できるシステムへの刷新を含め、フロントPOSシステムを全面刷新しました。また、コロナ禍を経て利用客層が団体から個人への変化していることから、レストランのレイアウト変更などを含めた設備リニューアルも同時に実施しています」と、同施設の支配人を務める鈴木和希氏。

同施設は以前からスターランドのフロントPOSシステムを導入している。フロントでは2台のPOSレジを稼働させ、レストランを除いた施設利用料金（売店利用を含む）はリストバンド式のバーコードで退館時に一括精算する。これまで精算方法は現金またはPayPayに限られて



もえぎの湯の受付。POSシステムを刷新し、2台体制で受付と精算を行う



レストランの券売機。常時1台が稼働し、もう1台は予備として導入

いたが、今回のリニューアルではPOSレジをバージョンアップさせてクレジットカードやQRコードなど多彩な精算方法が可能となった。また、POSシステムのメインサーバのOSが古くなっていたことから、サーバ自体を刷新したことで作業効率が大幅に向上している。

レストランの精算は温浴施設から分離 売上げデータなどは一括集約が可能

一方、施設2階にあるレストランに設置していた券売機も刷新し、現金のほかクレジットカード、QRコード、電子マネーなどに対応。予備の券売機も含めて2台設置することで、紙幣詰まりといった不測の事態や混雑時にもスムーズに対応できるようにしている。

「温浴施設を利用せずにお食事だけ楽しみたいというお客さまもいらっしゃるの、温浴施設とレストランの精算はあえて別にしてありますが、売上げデータな



以前はスタッフが精算、入金作業を行っていた。リニューアル後はスタッフが精算を行ない、利用料金の入金は客自身が行なうセルフ方式となった



レストランのリニューアルも実施。以前は畳敷きであったのが、一部畳席を残し、テーブル席とカウンター席に変更した

どはメインのPOSシステムで集約することができます」と鈴木支配人。

4月1日のリニューアルオープン後は、売上げの約半分がキャッシュレス精算となっており、とくにクレジットカードの利用が多いという。また、キャッシュレス化によって釣り銭の需要が減少したことで、銀行で小銭に両替をする際の手数料削減にもつながっている。

かつては年間10万人を集客していた同施設だが、コロナ禍で集客が大きく落ち込み、いまだ回復途上にある。キャッシュレス化を機に若年層やインバウンドなど新たな客層を掘り起こし、集客増につなげる構えだ。

「スーパースター」シリーズとは

POSシステム「スーパースター」シリーズは、㈱スターランドが開発・販売。カラオケボックスのほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。